

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

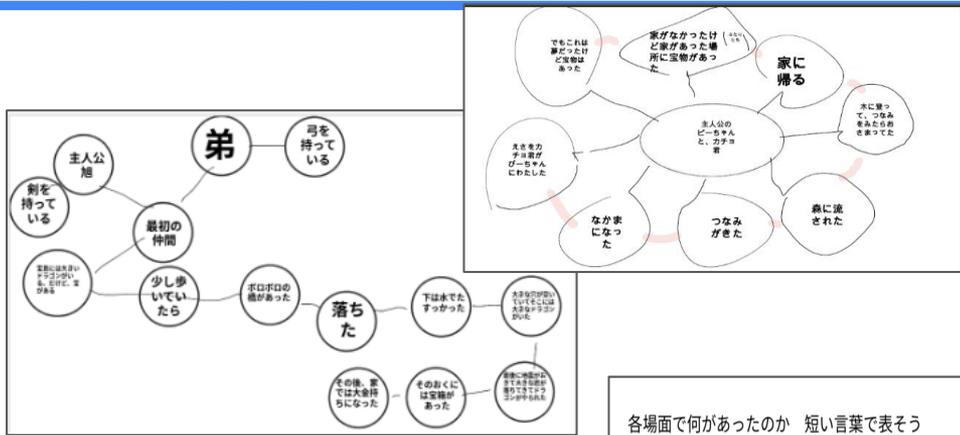
【取組内容①】 Googleアプリや思考ツールなどを使った個別最適な学びと協働的な学びの充実

Googleスライドやジャムボードを活用し、子どもたちが自走できるように単元計画を組み、学習に取り組んだ。

【例】

3年生の「3年とうげ」では、各場面どんな事が書かれ、何がおじいさんの気持ちに変化をもたらしているのかを調べた。

また、3年とうげの話の展開（起承転結）を応用し、「宝島の冒険」の物語づくりを行った。思考ツールを活用し、物語を構想することができた。作成もスライドで行うことで、子どもたちの作品の添削をすぐ行うことができスムーズに学習を進めることができた。



各場面では何が書かれたか 短い言葉で表そう

- 1の場面
3年とうげの説明。3年とうげには、昔から、こんな言い伝えがありました。
「3年とうげで転ぶでない。3年とうげで転んだならば、3年きりしか生きられぬ。長生きしたけりゃ、転ぶでないぞ。3年とうげで転んだならば、長生きしたくも生きられぬ。」

あるところに、子豚のくー、たー、びーの仲の良い兄弟がいました。くーは力持ちで、たーは食いしん坊で、びーはどうしようもない泣き虫でした。

ある日、くーが「村の人たちが恐ろしいと言っているあの宝島へ行こうよ」とたーとびーに言いました。たーとびーはそれにさんせいして早速準備を始めました。

宝島に向かっての途中、海でイルカ、クジラ、サメに会いました。くーはいいことを思いつきました。くーは、「美味しい魚をあげるから一緒に来てくれない?」と聞きました。魚は、イルカ、クジラ、サメの大好物です。イルカたちはすぐに「OK」と言い、一緒に行くことになりました。

森へ行って、海を渡ってやっと宝島へ着きました。ついたとたん、ぎょろっとした目をしたタコ、イカ、クマ、パンダがこちらをにらんでいます。タコたちは、子豚たちに、「ここを通りたかったら俺様たちと勝負をし、勝ったらここを通ってやる」と言いました。子豚たちは勝負をすることになってしまいました。イルカ、クジラ、サメは、海にいるタコ、イカと勝負をします。子豚のくー、たー、びーは、パンダ、クマが相手です。

まず、くーがクマを持ち上げて海へほうり捨ててしまいました。たーがいきよい良くパンダのみこみました。海では、まず、イルカがタコの周りをものすいスピードで回ってタコがおぼれてしまいました。クジラの背中の水がイカに直撃してイカが飛ばされてしまいました。これが一件落着です。

そして、イルカたちと子豚たちは（宝を見つけて宝を持ち帰り子豚たちは）幸せにいつまでも暮らしました。おしまい!

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

【取組内容①】 Googleスプレッドシートを使用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実

2年生では、算数の振り返りの活動にGoogleスプレッドシートを導入して、児童一人一人の振り返りを通し、他者参照を行う積み重ねによる実践を行った。

また、スプレッドシートの「コメント機能」を使用することで、容易に教師のフィードバックができるようになる。

児童もコメント機能で、授業中に疑問に思ったこと、質問したいことを入力することができ、より個に応じた指導を行うことができた。

さらに、学級全体で一人一人の振り返りシートを共有することで、次のめあてを児童自ら立てられるようにし、学びの自己調整を通し、一人一人の学びの変遷を捉えることもできた。

<児童の振り返りの様子>

学んだこと・わかったこと・ きもんに思ったこと	先生 チェック欄
たくさんれんしゅうして早く九九が言えるようにがんばりたいです。	<input checked="" type="checkbox"/>
ずっとたすが大変だから、かけ算をつかうと楽になる。	<input checked="" type="checkbox"/>
かけ算は、人数を数えるのがらく。4 + 4 + 4 + 4をしなくてすむ。	<input checked="" type="checkbox"/>
かけ算はいろいろなかぞえかたがらくでべんり。1つ分が何かをさがせばいい。	<input checked="" type="checkbox"/>
3cmのテープの2つ分と2ばいはいっしょとゆうことがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>
アレイ図はかけざんがわかりやすいから、べんり。	<input checked="" type="checkbox"/>
2のだんも3のだんもたすたすさくせんをつかえば、式の答えがわかる。	<input checked="" type="checkbox"/>
1箱に5このクッキーがあります。その時の掛け算の式は、箱がいくつ分で、クッキーが1つ分とゆうことがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>
1つ分といくつ分に気をつければ式が書ける	<input checked="" type="checkbox"/>
わけわけさくせんでも、2～5のだんがつくれることがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>

コメント機能でフィードバック

1つ分といくつ分はそれぞれどっちなのかを見つけることができてすね。

<児童がコメント機能で質問する様子>

学んだこと・わかったこと・ きもんに思ったこと	先生 チェック欄
たくさんれんしゅうして早く九九が言えるようにがんばりたいです。	<input checked="" type="checkbox"/>
ずっとたすが大変だから、かけ算をつかうと楽になる。	<input checked="" type="checkbox"/>
かけ算は、人数を数えるのがらく。4 + 4 + 4 + 4をしなくてすむ。	<input checked="" type="checkbox"/>
かけ算はいろいろなかぞえかたがらくでべんり。1つ分が何かをさがせばいい。	<input checked="" type="checkbox"/>
3cmのテープの2つ分と2ばいはいっしょとゆうことがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>
アレイ図はかけざんがわかりやすいから、べんり。	<input checked="" type="checkbox"/>
2のだんも3のだんもたすたすさくせんをつかえば、式の答えがわかる。	<input checked="" type="checkbox"/>
1箱に5このクッキーがあります。その時の掛け算の式は、箱がいくつ分で、クッキーが1つ分とゆうことがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>
1つ分といくつ分に気をつければ式が書ける	<input checked="" type="checkbox"/>
わけわけさくせんでも、2～5のだんがつくれることがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/>

教師は、コメントに返信する形で、児童の質問に回答した

すね。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

【取組内容①】 Google Jamboardを活用した協働的な学び

ジャムボードを使って、子どもたちが意見を交流しあえるよう単元計画を組み、学習に取り組んだ。

【例】

防災について学習した際に、久喜市のハザードマップに掲載されている「マイ・タイムライン」をJamboard化して学習に取り組んだ。

仮定の家族を想定して話し合い、意見を共有し、対話や協働につなげることで、考えを深めることに役立った。

付箋が自由に動かせるため、警戒レベルとすべきことを自由に動かしながら様々な想定をすることができた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

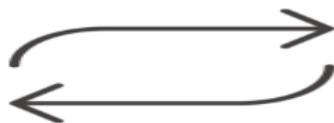
【取組内容①】協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実

学習内容をチェックポイントとして提示

チェックポイントに紐付いた
チェックテスト

チェックテストをスプレッドシートにまとめて
1人1人の進捗と回答を把握

友だちと 様々な資料と
協働的に学ぶ



個別最適な学びへ
ファシリテート

6年生社会科で単元内自由進度学習を行う際に使用した。classroomを通じて1人1人にチェックポイントを配信し、児童は自分のペースで進めていく。チェックポイントが終わった児童はチェックポイント一つ一つに紐付いたチェックテストに取り組む。教師はチェックテストの回答が集約されるスプレッドシートをみながら、適宜必要な支援を行う。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

【取組内容①】学習支援ツールとGoogleツールを活用した「自己調整学習力」の育成（自由進度学習）

【取り組み】

単元内自由進度を4年生が取り組みやすい形で行った。学習支援ソフトに1時間ごとの学習のカードを用意し子どもたちに配付する。そのカードに沿って自分一人で学習を進めたり、友達と進めたりすることができた。ふりかえりはスプレッドシートで積み重ねた。ふりかえりシートで自分の学習の仕方をふりかえり、次時に生かせるようにした。

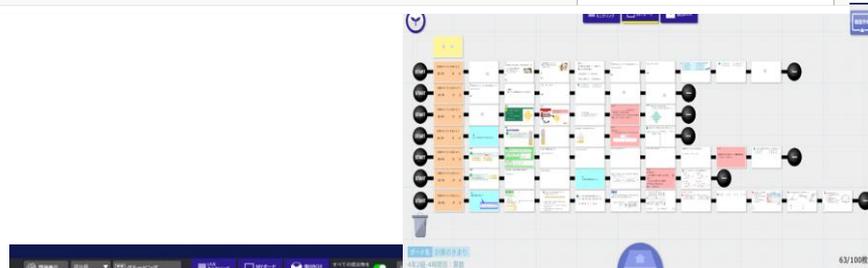
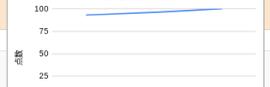
【効果・成果】

子どもたち一人ひとりが自分で1時間のめあてを決め、見通しをもって学習することができている。自分たちの進度で進めることができるので、子どもたちは主体的・意欲的に取り組むことができている。学習を共に高めあえる友達を進友として、教え合ったり一緒に考えたりと協働的に学ぶこともできている。教員も子どもたちのフォローにまわることができ、特に苦手な子どもへの支援に重点を置くことができている。自由進度学習を取り組んでみて、子どもたちの算数が嫌いな人数が減った。まずは、算数嫌いをなくし算数に主体的に学べる子どもを増やしていきたい。

日	学べたかチェック!!	めあて	学びの点	振り返りまたはふんせき	次に生かすこと
11		今日は1人で、もくもくと15分でP7までやり切るぞ!	85	①一人でもくもくとやったら集中して取り組むことができた ②一同じく1人でやっていた友達と最後の時間にしゃべってしまった。	次は、しゃべらずに周りに人がいないところでやる
12	1	一斉授業（一緒に考えよう）	93	①わかなくても周りの人と考えた。 ②家で説明するのが難しくて自分の考えがけなかった。	わからなくてもちがくていいからなか書く。
13	2	表を見て関係を□○を使った式(算)に表すことができる	96	①みんなで話し合っって進めた ②話し合えたけど途中で話が脱線した。●ちゃんと言々と内容がよくわかるからいい	話し合いで話が早い。
14	3	表を見て関係を□○を使った式(算)に表すことができる	100	①ほらずに助け和えた ②補充問題で自分の答え間違いに気づきレベルアップできた。	自分がレベルアップできるようなことを見つける。
15	4	教科書以外の問題を解き、学びを深めることができる			

一番下に 1000 行 追加

学びの点数



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

【取組内容①】クラウド活用を通し、一人ひとりの特性に応じた個別最適な学び

ひまわり学級では、児童の特性に適した学習補助ツール①を多く活用し、個別最適な学びの実現を目指した。

①色彩に関する感覚が乏しく、絵の具を使うと濁った色になりがちであった児童に対して、混色の結果が予めわかるアプリを活用した。

②時刻と時間の学習が苦手な、「〇〇分後」「〇〇分前」が捉えづらい児童に対して、針を動かすと経過時間がわかるツールを用いた。

③文字を読んで内容を理解することに困難を抱えている児童に対して、Chromebookの音声読み上げ機能を活用した



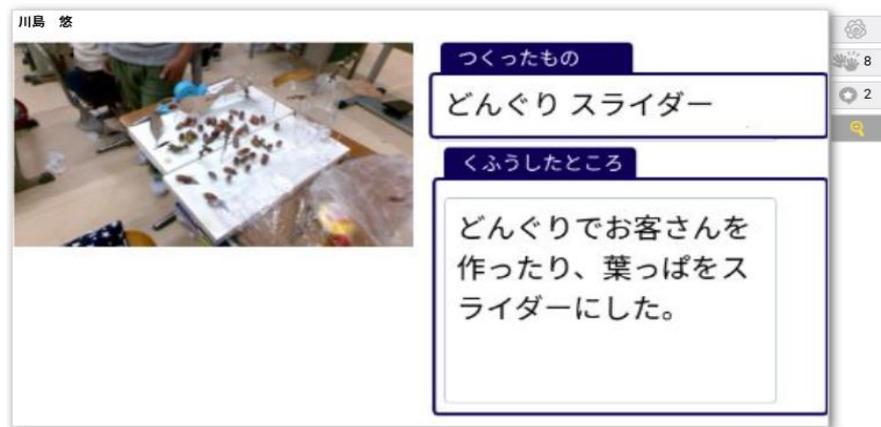
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

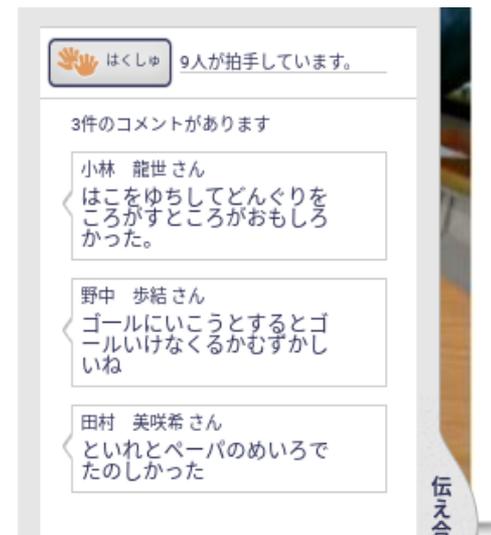
【取組内容①】ムーブノートを活用した協働的な学び

1年生では、生活科や図工などでムーブノートを使いました。作品の写真を撮り、工夫した点を入力し、紹介し合いました。

コメント機能や拍手の機能を使い、お互いの作品の良いところを認め合うことができました。また、「真似してみたい」「みんなに楽しんでもらえるようにしたい」など、意欲の向上につながりました。



【工夫したところを友達に紹介、拍手で反応】



【コメント機能の活用】